

会員の皆様へ

新型コロナウイルス感染症の拡大に対処する奈良県知事の会見は、会見後に奈良県ホームページに動画と会見資料が配信されます。けれども、字幕や文字によるサポートがありません。

奈良県中途失聴・難聴者協会の賛助会員のご尽力により、文字起こし文をつけることができました。内容を忠実に文字に変えてもらっていますが、マイクの調整具合などの関係で、聞き取りにくい部分があったり、話し手が、曖昧な単語を使ったり、指示語を多用したりすることで、聞こえる人でも、内容の理解がむずかしい部分もあります。

そのような部分は、文字起こし文も読みにくくなっていますが、現時点でのできる限りの対応でありますことをご了承ください。

## 奈良県新型コロナウイルス感染症対策

### 感染拡大に対応できる医療提供体制を堅持し、適切な感染防止を図りながら日常生活を維持する

令和4年1月12日 第30回 新型コロナウイルス感染症対策本部会議

司会／第30回奈良県新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開会します。

昨年 of 年末以降、全国的に新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にあり、県内でも確認されているオミクロン株の感染力の強さも懸念される。

一方で、ウイルスに関するエビデンス（正しい情報）に基づいた対処が重要となっている。

こうした中、本日は本県の対処について「奈良県新型コロナウイルス感染症対策 感染拡大に対応できる医療提供体制を堅持し、適切な感染防止を図りながら、日常生活を維持する」として議論したい。

本部長の知事より発言をお願いします。

知事／奈良県の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、コロナ対策会議をしたい。

一つは、今の状況、動向の確認、情報の共有化。

それとともに、今までの経験、知見が重なっているので、それを踏まえて、これからの対処を、どのようにするか確認していきたい。

資料の説明をする。

1 ページ

「医療提供体制を堅持して、感染防止を図っていただきながら、日常生活を維持する」ことを基本的な方針にしたい。

2 ページ

オミクロン株が発生してきた。

その様子を見ながらになるが、基本的な対応の姿勢は、変わらない。

エビデンスに基づいて「冷静な対処」が第1。

その上で、医療提供体制を堅持する。

3回目のワクチンを迅速に進める。

「冷静対処」と「医療提供体制」と「ワクチン接種」の3本柱になる。

このような対応で頑張っていきたいので、県民の皆様には、感染防止に努めながら、できるだけ日常生活を維持していただきたい。

### 3 ページ

オミクロン株は、感染力が強いと、いわれている。

オミクロン株の様子も、わかってきている。

これから、どのような変化があるかはわからないが、相当のスピードで感染が広がる状況。

感染力は強いと、いわれている。

一方、重症化率は低く、死亡者は少ない状況だとわかってきている。

安心はできないが、世界的にも同じような傾向があり、日本でも同様な傾向だと思う。

3つ目は、ワクチンの効果は、有効であると言われる。

これまでワクチンは2回目接種まで進んでいるが、ワクチンの効果は有効であるとともに、3回目のワクチン接種も有効であると、エビデンスとして示されている。

### 4 ページ

そのようなエビデンスに基づいた対処の内容を情報共有、確認したい。

1つ目は、強い感染力はあるが、医療提供体制を堅持する。

受け入れる医療を堅持することが、基本になる。

その際、これまでと同様に、入院や宿泊療養を原則にしたい。

家庭の事情などで入院・入所を拒否される方がいる。

自宅で療養する場合であっても、健康観察に万全を期していきたい。

現在、492床の確保病床の一部の113床を通常の医療のために戻しているが、

このような状況なので、コロナ対処運用を再開したい。

対処の1つ目は医療提供体制を堅持していくこと。

### 5 ページ

2つ目の対処は、適切な感染予防をお願いしたい。

(オミクロン株は)重症化が低かったり死亡者が少なかったりするが、基本的な感染予防は、「マスク」「換気」「消毒」「距離」の4つ。

コロナは、雨が降るように空からウイルスが降ってきて感染するものではなく、対面でうつるのが原則。

対面の人が多くなれば、集団感染になる。

雨が降るように、水をかぶるように感染するわけではない。

飛沫で感染するのが基本。

個人それぞれが、「距離を取る」「マスクをする」「換気をする」など、個別の感染予防の配慮があると、リスクは軽減されると、わかってきている。

これを徹底することは、基本的に必要である。

3つ目は、ワクチン接種は有効だと思われるので、ワクチン接種を進めたい。

後で、その内容を具体的に説明する。

今、言ったことを整理すると、エビデンスが3つある。

感染力が強い。

重症化率は低く、死亡者は少ない。

ワクチンの効果は有効。

エビデンスがあるので、それに対応する。

医療提供体制を堅持する。

適切な感染予防をしていただく。

ワクチン接種を進める。

この3つを堅持して対応していきたい。

これを、対処方針会議に諮りたい。

よろしくお願いします。

6 ページ

最近の感染動向について情報共有したい。

7 ページ

大阪の動向と連動している。

3波、4波、5波と連動性が高くなってきている状況。

今回のケースでも、連動性が見てとれる。

8 ページ

近隣の滋賀県とも同じような動きがわかってきている。

これは、同じスケールだが、滋賀県の動きと奈良県の動きが、ほぼ毎日少しずつの差はあるが、連動している状況。

9 ページ

日々の感染者を（奈良県と）大阪と滋賀を並べて表示していきたい。

近隣の感染の動向と比較していきたい。

10 ページ

感染経路の判明している者の内訳。

基本的に調査中が多くても、感染類型に大きな変わりはない。

その中の割合が少しずつ変化するのが、これまでの経験である。

奈良県のパターンは基本的にはあまり変わらない。

今回の直近の感染状況は、1次感染のうち県外に行って感染、県外から来た人の感染が3分の1で多くなっている。

11 ページ

親族との交流による感染が多い。

1次感染も2次感染以降も同じような傾向。

これは、年末年始の行事や友人との交流等が関係していると思われる。

年末年始の交流拡大、対面での付き合いの拡大が影響していると思われる。

#### 12 ページ

ワクチン接種の展開について。

現在3回目のワクチン接種はまだ少ない。

国も、医療従事者や高齢者に次いでその他の人たちも前倒しでワクチン接種をしてもよいという方向である。至急、3回目のワクチン接種の前倒し、接種体制の強化を図っていききたいと思う。

#### 14 ページ

追加接種の状況について。

1月上旬から表にある市町村において、接種をすすめていただいている。

奈良県の過去の状況を振り返ってみると、当初はワクチン接種の出足が鈍かったが、終盤に入ると近畿では最も高い接種率になった。

その高い接種体制を持続していただきたいと思う。

#### 15 ページ

医療提供体制について。

#### 16 ページ

第5波のピーク時の総療養者は1522名だが、それを上回る入院病床と宿泊療養室を確保している。当面この体制で、医療提供体制を維持していききたいと思っている。

#### 17 ページ

その中で重症対応病床は、これまで大きな意味があった。

オミクロン株は重症化率は低いということを反映して、重症化治療の利用は少ない状況。

しかし、従来から重症対応は、奈良県は全ての人に対して治療しているので、この34床をもとに重症対応を維持していききたいと思っている。

#### 18 ページ

占有率は現在0である。

#### 19 ページ

重症化予防について。

入院と宿泊療養で感染者を引き受ける。

宿泊療養における重症化予防は、従来からの健康観察、または体調急変時の処理を宿泊療養施設でしている。効果があったので、従来からの重症化予防の徹底をしていきたい。

#### 20 ページ

自宅で待機される方、また入院入所を拒否される方がおられる。

重症化予防のための従来からの対応を継続維持していききたいと思っている。

これには、保健所の役割が大変大きいので、保健所機能の強化を図っていきたい。

## 21 ページ

入院病床の確保状況について。

492 の確保病床がある。

後で申し上げるが、113 の予備入院病床を戻したい。

この表を見ると、民的と公的の病院の比較になっていて、左が公的病院、右が民的病院。

病院数は、15 病院と 14 病院で半分半分。

全国でも似たような傾向で、やや公的病院が多いが、病院数としては半々になっている。

病床の割合は、この表にあるように、左の県立系の公立公的病院を合わせると 82.5%になる。

民間の方は 17.5%で、追加でがんばっていただき増えてきている。

病床数についても、全国の傾向は似たようなものかもしれない。

奈良県では、国立大学はないが、国立病院機構は頑張っていただいている。

県立病院が約半数を占めて頑張っていただいているのは、心強く思っている。

## 22 ページ

入院病床の占有率は、現時点で 379 床の運用で 31%です。

## 23 ページ

宿泊療養の確保運用は 1083 で、この表のようなホテルを利用させていただいている。

## 24 ページ

宿泊療養の占有状況は現在 17%である。

## 25 ページ

対策医療の強化について。

今までの状況をふまえて、特に病床 113 床を一般病床に転用して通常病床として使用してきた。

これをコロナ対応に戻すように調整していたが、1月16日の予定でコロナ対応病床として運用を再開するようになった。

従って、コロナ対応病床数は 492 と 16 日以降はなる。

## 26 ページ

2 つ目は、保健所機能の強化について。

保健所の機能はいろいろあり、疫学調査という感染者の追跡調査、特に濃厚接触者の調査で大変手間がかかっている。

そのため、事務的な負担は大変大きい。

保健所体制を県庁内の人員の配置、また外部委託により体制強化をしていきたいと思っている。

12 月以降に保健所機能を強化し、中和保健所と郡山保健所に、新たに 6 名ずつの派遣をした。

今の状況だと、この保健所機能の強化で人員的には間に合うと聞いている。

一時の感染者の増加に対応できるように状況をよく見極めて、引き続き保健所機能の強化の準備をしていきたい。

## 27 ページ

県民の皆様へのお願い。

28 ページ

マスクを正しく着用し、換気や消毒をし、2 m 以上の距離を確保する。

感染は一对一でうつるんだということを確認した上で、日常生活を維持していただきたい。

29 ページ

今までの感染予防の基礎基本原則を徹底していただき、飲食や会食の場合には気をつけていただくことが必要。よろしくをお願いします。

今日は、語りたい点が2つある。

1つは、今までの医療機関と県との関係だが、実務者レベルの打ち合わせを、2週間に1回定期的に行ってきた。

「新型コロナウイルス感染症に関する連絡会」という名称であった。

医療体制の堅持というのは、県レベルの我々行政では極めて重要である。

そこで、このたびの状況、またこれまでの経験を踏まえて、新しくトップレベルによる新型コロナ対策に関する医療面での情報共有と、意識の共通化を目的とした仮称「奈良県新型コロナ対策医療協議会」を立ち上げたいと思う。

先ほど事務方に指示をしたところ。

開催は今月中(1月中)にできたらと思っている。

会議のメンバーは、新型コロナ患者の受け入れ病院の病院長の方、半分は公的病院、半分は民間病院。

県の医師会長の方、病院協会会長の方、薬剤師会長の方、看護協会会長の方、あるいは保健所長、郡山・中和・吉野・奈良市の4ヶ所。

それと、公立病院を有しておられる市長。

奈良市・高田市・生駒市・宇陀市とあるので、そのような方々でコロナ対策の医療協議会を立ち上げたと思う。

もう一つは、ワクチンなどでは市町村長の役割があるので、新型コロナウイルス感染症対策における県と市町村とのこれからの役割の確認、同じ情報共有化を図るために、県と市町村長のコロナ対策連絡・コロナ対策協議会といったようなものも立ち上げたい。

これは1月31日に、市町村サミットがあるので、その際、このような趣旨の会議を立ち上げていきたいと思っている。

県内の感染状況・動向を情報共有して、行政に対する感染症専門家からアドバイスをいただく、また今後の取り組みについて議論をするといったようなことを目的にしたいと思う。

今後必要に応じてこのトップクラスの行政レベルでの対策協議会を続けたい。

必要であれば、幹事会といいますか、事務レベルのワーキンググループを作っていけたらと思う。

今日は口頭だが、お話ししたい。

三つめについて。

春の「いまなら。キャンペーン」をしている。

感染防止に取り組んでいただきたいと言っているが、それとともに日常生活を維持していただきたいということもお願いしている。

日常生活と感染防止の両立を図っていただくという観点で、2月28日まで「いまなら。」を予定している。

県内の人の県内の宿泊の応援で、日常生活は閉じこもり型にして、安全なところには行っていただいているという精神。

3月1日以降も、「いまなら。」継続の方向で検討をしていただきたいと思っている。

その際にはワクチンの3回目の接種の応援ということもあるので、3回目接種をされた方の割引率を上げるなどの工夫も検討していただきたい。

その内容については、担当部局で検討をしていただきたい。

継続をして、3月から開始となると、検討して募集とか事務手続きが要る。

今日の時点でその方向での検討を進めるということ、この対策会議にかけてお諮りする次第。

県民の皆様へのお願いということの繰り返しになるが、日常生活を維持するために、ぜひとも感染予防リスク軽減のための感染予防を徹底していただきたいと思う。

それと感染された場合でも、医療提供体制で重症化を予防する、死者を出さないということには、全力を挙げていきたいと思っている。

お諮りする内容は以上。

よろしくご検討をお願いしたいと思います。

議長／ありがとうございます。

その他本部委員からご発言いただく内容につきましてございましたら、お願いします。

よろしゅうございますか。

それでは本日の会議でお諮りいただきました内容を確認しますとともに、ご承認についてお伺いしたい。

まず、資料の表題にもございます「奈良県新型コロナウイルス感染症対策感染拡大に対応できる医療体制を堅持して適切な感染防止を図りながら、日常生活の維持を県民に対してお願いする」という基本方針につきまして、確認をしたいと思います。

この中には知事からご説明がございました、春の「いまなら。キャンペーン」につきましても、実施の方向で検討を進めるということを含んで諮りたいと思います。

併せまして、もう一点、県と関係機関によりますトップレベルでの医療関係の協議会並びに、ワクチン接種などを担っていただきます市町村を含めた行政でのトップレベルでの協議会を新たに立ち上げるということにつきましても併せてお諮りしたいと思います。

以上を本日の決定事項としてご承認をいただけますでしょうか。

ありがとうございます。

それではそのように進めたいと思います。よろしくお願いします。

司会／それでは以上をもちまして、第30回奈良県新型コロナウイルス感染症対策本部会議を終了いたします。

引き続き、報道機関の皆様との質疑応答の時間とさせていただきますので、本部員の皆様ご退席願います。

ありがとうございました。

司会／それでは報道機関の皆様よろしいでしょうか。

これより質疑の方へ移らせていただきます。

この本部会議の後、14時から議会への説明がございますので、質疑につきましては、13時50分を目処でご協力をよろしくお願いいたします。

それではご質問のございます方は挙手にてお願いします。

記者／毎日新聞の久保です。

ワクチンの接種ですが、2回目のときに県がされたように、広域接種会場を設置する考えは？

知事／市町村とまた協議したいと思います。

市町村の第2回目の後半は、市町村でずいぶん頑張っていたで出てきました。

しかし国の方針が前倒しということになってきました。

前倒しのペースが市町村、あるいはクリニックの接種で多少でも遅れて、大規模接種会場を作ることによって前倒しが可能になるなら、そのことも検討していきたいと思います。

ワクチン3回目接種は始まったばかりです。

動向を見ながら、その可能性も視野に入れたいと思っています。

記者／それと国の方が昨日12歳未満の方にも接種をしていく方針を示しました。

知事としては賛成なんですか。

知事／そうですね。対象拡大については賛成です。

対象を医療従事者、高齢者の順でありましたけれども、オミクロン感染は活動する人にうつっています。

接客業の方とか。

国の方針もちょっとずつ変わってきているように思う。

経済活動に打撃を不要に与えないという方向を確認されているように思います。

日常生活を維持することも並行して大きな役目になっています。

日常生活を支える人たちに、医療だけじゃなしに、福祉にしる、接触をされる人たちに早くワクチン接種をしていただいた方がいいと思います。

その選別の仕方を知事に任されるのか、国が指示をするのかは、まだはっきりしていません。

方向としてはワクチン接種が、より必要な方により早くしてもらおうということの考え方は賛成です。

具体的には、国がするのか、中央ができるのか、まだはっきりしてないように認識をしています。

できるだけ県としても拡大する方向で、しかも理屈がなるべく立つような形でしていきたいと思っています。

記者／それとコロナ連絡会をやめて仮称医療協議会にしたいということですが、これには知事も入るのか。

マスコミに公開するような、そういう会議ですか。

知事／マスコミも入っていただいていると思っています。

急なことを言い出したように思われるかもしれませんが、その例が最近の「医療崩壊真犯人は誰だ」という本にあります。

長野の松本市で、地域内のコロナ病床体制整備についての会合をされて、効果があったという報告が出ています。

それを真似てってというか、もじった感じはあります。

先ほど申し上げたように、医療提供体制は大きな役割、大きな意味があります。

連絡会という形でやってきたが、ここに書いてあるのは、医療提供体制の責任は国なのか、知事なのか、病院そのものなのか。

それがはっきりしない国だということがこの真犯人で、とても大きなことで、それじゃいかんと思う。

知事も医療提供体制の全責任を負っているのか負っていないのか。

わからんままだけれども、やるべき、やっていいことはしようじゃないかと医療提供体制のより積極的な姿勢が必要だと、この本の一角を読んで改めて思った次第です。

記者／知事も入られるんですか。



知事／もちろんです。

記者／会長は知事ですか。

知事／会長とか組織は・・・

連絡会の座長になるのか。

まあ主催者は知事になると思いますが、法的なものではありません。

連絡会の座長は医療部長がされているんですか。誰か座長おられますか。

担当／連絡会は医療政策局で事務局を務めさせていただいている。

知事／事務方が県の医療政策局。

そのグレードアップといいますか、格上げになりますので、県の事務方では問題ないと思います。

協議会ですので、会長になるかもしれません。

差し支えなければ調整をして。

なっっていいかどうかという調整がまだ済んでおりませんので、なるよということを前提に思われていたら申し訳ないなと言葉を濁しているような感じです。

なっってもいいよということでありましたら、主催者としての会長になって、情報提供と共有化の材料として意識の共有化を図ろうと。

もしやるべきことが残されているのなら、発見して実行しましょうよといったことを進めていこうと考えています。

主催者としての役目を果たしたいと思っています。

記者／それと、「いまなら。キャンペーン」を続けるということですけど、これは感染者の数が、例えばさらに1日数百人とかになっても続けますということなんですか。

知事／そうですね、2月28日まで「いまなら。」は奈良県民の方に奈良県内で安心して、宿泊行動をしていただきますという事で始まっています。

県民限定ですから、うつされる方もうつす方も県民になります。

ことさら用心してくださいということはお願いをした上で、割引をしているということです。

割引や10万円給付とかは、日常生活を取り戻すための割引ですので、これは物を買うだけじゃなしに、いろんな行動をされるときにも、10万円給付を使っていただいてももちろんいいわけです。

日常生活を維持ができない人がいると困りますので、日常生活の維持はこのような状況でも大事かと思って、「いまなら。キャンペーン」は継続できたらということで、検討したいと思っています。

記者／それとあわせてGo To イートと奈良県独自でされてるクーポンについても、一応予定通り続けていこうということ？

知事／Go To イートは今継続中です。

Go To イートは国の事業ですので、国のGo To イートは継続されるかどうかまだわかりません。

まだシグナルは何も出ておりません。

様子を見てそのままであれば継続されるんじゃないかと思っています。

「いまなら。」は県の事業で Go To イートは国の事業です。

記者／チケット販売は。

知事／そうですね、国の事業ですけども、

記者／チケット販売は都道府県が止めたりできるんで。

そういう予定はないでしょうか。

Go To イートは？

知事／今のところ国の・・・

担当／すいません。先ほど知事も申し上げましたように国から奈良県の意向の確認も来ておりませんので、現時点では知事が申し上げた通り、止めることはありません。

記者／3000円クーポンですね、飲食店で使える。

あれも予定通りやるといふ？

知事／クーポン？クーポンはもう・・・

担当／1月末迄ですが、それも今現時点では止めるつもりはございません。

知事／あれはワクチン接種の促進ということでした。

ワクチン接種で特に2回目ということでした。

3回目はどちらかという「いまなら。」の方で代替してもらおうかというような方向になっています。

記者／3回目のワクチン接種クーポンというのを出すかどうかは、まだ考えていないということですね。

知事／はっきり言うと、考えていませんということです。

すいません。

司会／他にご質問よろしいでしょうか。

朝日新聞、渡辺さん。

記者／すいません。

ニヤッとされていましたが。ちょっと1点だけ質問したいのがありまして。

ワクチン接種の体制についても強化をしていっておっしゃったが、具体的にどう強化させていくのか伺いたい。

知事／ご質問、嬉しいですね。ワクチン接種の説明ができますか。

担当／国からの配分状況等を確認しているところでして、そういうのを踏まえて、体制強化について検討して

いくという現状です。

記者／今時点では想定で構いませんので、先ほど広域接種会場については情勢を見て考えて検討していくという話だったんですけど、それ以外で強化できる部分というのは具体的にどんなものがありますか。

担当／ご質問ありがとうございます。

例えば医師派遣ですとかそういった意味での体制強化ということは検討しています。

市町村ともよく情報共有しながら、今後の体制については考えていきたいと思っているところです。

司会／他にご質問いかがでしょうか。

はい、毎日新聞 久保さん。

記者／申し訳ありません。

聞き忘れていたんですが、飲み薬、これメルク社の飲み薬だと思うんですけど、これで治療できる体制を構築しているということだが、投薬された例があるのですか。

それと、県内どれぐらいの病院や薬局で投与できるのか。

担当／ご質問ありがとうございます。

年末に承認されたモデヌピラビルのお話だと思っております。

県の方にも報告として上がってきた実績はまだございません。

ただ登録されているような薬局ですとか、医療機関はすでにございまして、すでに在庫を持っている薬局、医療機関もあると聞いております。

記者／数は分からないのですか。

担当／待っていただいてもよろしいですか。

薬局は、在庫をすでに置いておるところが大体 30 ぐらいというところですよ。

登録の数についてはもっと多くはございます。

医療機関の方はまだ在庫を置いているところは現時点ではないと思いますけれども、既に発注をかけているところですので、近日中に置かれるのではないかと考えています。以上です。

記者／それと奈良県でも感染者が増えていますが、いわゆるブレイクスルーですね、2 回ワクチンを接種したけど発症している人の割合などは、知事はエビデンス好きですけど、調査しないのですか。

知事／把握したいと思います。オミクロン感染者。

ワクチン接種がずいぶん進んでおりますので、2 回接種した人でもかかる人もいると思いますけど。

一方、若い人が割とオミクロンが多いということは、ワクチン未接種の人の割合もある程度あろうかと思えます。

その疫学調査というか、追跡調査が必要ですので、まだ私のところにはデータが届いていませんが、今、久保さんが言われた観点からの調査は必要だと思います。

できるだけ早く数字をある程度、だいたいの感じでもいいんですけどね。

担当／今手元にございます数値ですけども、12月27日から本年1月5日の間に報道資料で発表させていただいた109名についての状況です。

概ね7割の方が接種されている状況です。

以上でございます。

記者／正確に数はわからないですか。

担当／おそらく78かと思います。接種済みはそうですね、78と聞いております。

今整理しているところです。多少の誤差はあるかもしれないですけども、だいたい7割ということでお願いできればと思っております。

記者／7割がブレイクスルーですが、それでもワクチン接種をやっぴり急いだ方がいいというのは、重症者を減らしたい、出さないためか。

知事／3回目のワクチンはやはり必要だと思います。

外国でもそうですし国内でも必要だという方向で。

これ、専門家の領域なんですけども、はっきり言ってほしいなと私ごときは本当に思うんです。

私の勝手な判断ではいけないと思うんですけど、だいたい日本の専門家よりファウチさん（アメリカ政府の首席医療顧問）の言うことを聞いている。

ファウチさんが言うことの方が、知見が高いんじゃないかと思ったりするので。

CNNでずっと見ているんですけども、ファウチさんが効くよとおっしゃっている。

WHOの見解も聞いていますが、WHOよりもファウチさんの信用の方が高い。

日本は専門家がいらないんじゃないかと思って聞いています。

日本の専門家は専門的なことをおっしゃらないからというのがその理由です。

自己判断しちゃいけないんですけども。

今までの情報だと、3回目のワクチンも効くでしょう、飲み薬も効くのができましたと、やっぴり知見があるとアメリカはこういうのはすごく進んでいますね。日本が遅れている分野の一つだと言われているので、歯がゆいです。

その薬をファイザーでもモデルナでも購入をしてもらって、それを打ってもらうので、感染予防に役立ちますよと。

今までは重症化予防にワクチンが役に立ちますよということで、ワクチン打ちましょうというモチベーションがすごく高かった。

なんか最近では、オミクロン自身が重症化は少ないねということになっていますので、だから、それでも打つ必要があるのかというのが、久保さんの質問の背景にもあろうかと思えます。

3回目のワクチンも感染予防にも効きますよとファウチさんがおっしゃっていますので、やはり3回目のワクチンを打つべきかと思っております。

できれば前倒しで打てればと思っております。

記者／ありがとうございます。

司会／もう時間が近づいてきていますので、あと1人ということでお願いしたい。

記者／NHK 大谷です。

まん延防止を国に要請することは考えていないですか。

知事／はい。今日時点では考えていません。

記者／理由は？

知事／理由？ 知らなかったの？

効果がないからですよ。

してほしいという人もいるかもしれないけども、してほしくないという人もいる。

アンケートで統計を取ってやるべきマターじゃないと思いますよ。

エビデンスに基づいてやるべきマターであろうと思います。

してほしい人が多いからすべきじゃないかというようなお考えは、あまり私は賛成しません。

司会／よろしいでしょうか。

それではお時間となりましたので質疑はこれで終了します。

ありがとうございました。